

JAやまがた

YAMAGATA KAMINOYAMA YAMANOE NAKAYAMA

特集

山形の畜産業の消費拡大とPRを担って 「山形市 食肉まつり」、今年も大盛況!



JA YAMAGATA MONTHLY
http://www.jayamagata.or.jp

10 October 2010
[神無月]

JA 広報やまがた 2010/10月号 発行/山形農業協同組合 〒990-8533 山形市麻生町1-12-35 TEL:023-641-3121 FAX:023-631-4714

JA 共済



安心を選んで組み合わせる
新しい医療保障です。

保障の期間や内容を組み合わせて安心を作る、医療保障。

- ポイント①** 共済期間が選べます。
終身 80歳満了 10年(更新)
- ポイント②** 1回の入院の支払限度日数が選べます。
365H 200H 120H
- ポイント③** 共済掛金の払込期間が選べます。^{※1}
終身 80歳 65歳 60歳
- ポイント④** 全額自己負担となる先進医療の技術料にも備えられます。
- ポイント⑤** 公的医療保険制度に連動したわかりやすい保障です。

※1 共済期間が10年(更新)の場合は、10年(全期払い)となります。 ※2 共済期間が終身の場合のみ選択できます。

<ご契約例>

【主契約】
入院共済金日額 10,000円
共済期間 終身
1入院限度日数 365日
共済掛金払込期間 80歳
先進医療保障あり
入院見舞保障あり

病気または災害で入院のとき	病気または災害で手術のとき ^{※4}	病気または災害で放射線治療のとき ^{※4}	病気または災害で先進医療を受けたとき ^{※6}
1日あたり 10,000円	入院中の手術の場合 (入院日額×20) 1回あたり 20万円	1回あたり ^{※5} (入院日額×10) 10万円	1回あたり 先進医療にかかる 技術料に応じて 定める額 ^{※7}
1回の入院につき ^{※1} 最高 365日 まで保障 入院見舞金(入院日額×5) 1回の入院につき ^{※1} 5万円 日帰り入院から50K ^{※2} 入院日数の通算支払限度なし ^{※3}	外来手術の場合 (入院日額×5) 1回あたり 5万円 公的医療保険制度と連動(一部を除く) 手術は何回でも保障(一部を除く)	10万円 公的医療保険制度と連動 通算支払限度回数なし	通算1,000万円まで保障

一生涯保障

定期特約やがん重点保障特則を付加すれば、保障をより充実させることができます。

指定代理請求特約 共済金などのご請求が便利になります。

※1 入院の退院日の翌日以後200日以内にその入院と同一の原因または直接の関係がある原因で再入院された場合は、これらの入院を1回の入院とみなします。 ※2 日帰り入院は、入院基本料の支払いの有無などにより判断されます。 ※3 特定の疾病については、通算支払限度日数は700日となります。また、80歳以降は700日となります。 ※4 治療を目的とし、医師診療報酬点数表により手術料・放射線治療料が算定されるものをいいます。 ※5 60日に1回を限度とします。 ※6 先進医療とは、療養を受けられた時点において厚生労働大臣が定める先進医療をいいます(一定の施設基準があります)。 ※7 共済金の額は、先進医療の技術料が2万円以上の場合は1万円未満切り捨て、2万円未満の場合は一律1万円となります。

JA 共済
しあわせ夢くらぶ
HAPPY & DREAM CLUB

●医療共済のお見積りサービス実施中 <http://e-service.ja-kyosai.or.jp/> ●この広告は概要を説明したものです。ご契約の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。 ●ご加入にあたりましては、お近くのJA(農協)へお問い合わせください。 ●「保険法」についてのお知らせ: 共済契約のご加入者等の保護を目的として、平成22年4月1日から「保険法」が施行され、JA共済にも適用されます。詳しくはJA共済のホームページをご覧ください。 ■ホームページアドレス <http://www.ja-kyosai.or.jp> サンキューふれあいキャンペーン実施中! <http://www.3qja.jp> 10481050159

新 JAの
医療共済



山形城址の霞城公園は、
一辺五百メートルほどの広大な緑地で
春は、石垣に植えられた桜がライトアップされ
お堀の水面に映る観桜のために
列車は速度を落として通行します。
そして秋は、そそり立つ急斜面に
目映いばかりの真っ赤な彼岸花が
まるで暑かった夏を惜しむように
競って咲き乱れています。

秋の霞城公園

懐かしの写真

昭和30年頃
山辺町 細羊市場
〈写真提供：山辺町〉



今月の表紙



上山市大字中山
落合完志さん、奥様のしげ子さん、
JAグリーンやまがた南部 長谷川充弘さん

落合さんでは稲作1.5ha、菊や青菜など野菜を30aほど栽培しています。この時期は菊の出荷で大忙しです。落合さんは、釣りが大好きで時間があれば、塩釜や庄内まで出かけます。3年前には60cmのヒラメを釣りあげたと嬉しそうに話してくれました。

JAやまがた 10月号 目次

懐かしの写真	02
やまがた彩時季	03
営農情報	04
特集 山形の畜産業の消費拡大とPRを担って 「山形市 食肉まつり」、今年も大盛況!	06
JA News Topics	08
仕事訪問	10
ジャーニー・エッセー	11
インフォメーション	12
料理 ジャガイモのモチ入り饅頭	14
地域情報	15

営農情報

10月上旬～11月15日

- ▶生活協同組合との交流会（稲刈り）
10月上旬
西部営農センター
- ▶ラ・フランス収穫判定会
10月上旬
各営農センター
- ▶大豆刈り取り判定会
10月上旬
北部営農センター
- ▶戸別所得補償モデル事業交付金申請手続き
10月上旬～下旬
2市2町
- ▶ラ・フランス収穫判定会・収穫作業
10月中旬
各営農センター
- ▶ラ・フランス出荷説明会・目揃い会
10月中旬
南部営農センター
- ▶山形地区りんご部会・目揃い会
10月中旬
中央・西部営農センター
- ▶水稲展示圃食味値検定会
10月中旬
北部営農センター
- ▶スーパーはえぬぎ販売対策会議
10月中旬
北部営農センター
- ▶第4回一升餅背負いの集い
10/16(土)
特販課
- ▶フラワーフェスティバル
10/16(土)
販売課・各営農センター
- ▶秋冬果実出荷協議会
10/22(金)
販売課・各営農センター
- ▶JAやまがた枝肉共進会
10/25(月)
畜産課
- ▶JAやまがた青年部 くず米集荷
10/25(月)～
営農指導課
- ▶つや姫栽培者中間検討会
10月下旬
北部営農センター
- ▶大豆品質検討会
10月下旬
北部営農センター
- ▶米・そば・大豆検査
10月下旬～11月中旬
各営農センター
- ▶上山ワールドラ・フランス 青果物直売
11/3(水)
南部営農センター
- ▶上市産祭り 青果物直売
11/6(土)・7(日)
南部営農センター
- ▶秋冬野菜目揃い会
11月上旬
中央営農センター
- ▶23年戸別補償制度研修会
11月上旬
北部営農センター
- ▶22年度転作団地奨励金配分案作成会議
11月上旬
北部営農センター
- ▶ぶどう剪定講習会
11月中旬
西部営農センター
- ▶JAやまがた青年部 収穫感謝祭
11/15(月)
営農指導課

平成22年度 JAやまがた米全量集荷運動 肥料・農薬かたらい訪問運動 推進大会開催



大会スローガン

- 『消費者に信頼されるうまい米』の安定供給を図ろう
- 安全・安心な『JAやまがた米』のブランド確立を図ろう
- 平成22年度産米契約数量233,000俵、全量集荷を達成しよう
- 安全・安心な農産物生産のため、肥料・農薬はJA全利用を図ろう

9月6日、山形市古館の協同の社において、平成22年度JAやまがた米全量集荷運動、肥料・農薬かたらい訪問運動推進大会が開催され、生産者・行政・当JA役員など約400名が参加しました。

長澤豊代表理事組合長は、「今年夏は非常に暑く、米の生育も例年になく早くなっているなど、農作物の管理が非常に大変になってきている。当農協としても、1円でも高い販売を目指していく」と挨拶しました。大会では、基幹品種の「はえぬぎ」と新品種の「つや姫」の特Aランクを目指したうまい売れる米作りを基本に、安全・安心な「JAやまがた米」の銘柄確立と安定供給に努め「むすびつき米」の取扱拡大に取り組むことが確認されました。JA組織一丸となった良食味・高品質米の生産と平成22年度産米出荷契約米233,000俵に全量集荷運動を展開いたします。また、施肥設計基



準・病害虫防除基準に基づく安全使用対策の充実を図り、生産組織・関係機関との連携を図りながら品目技術情報の提供と低コスト農業支援を実施し、組合員の安定した農業経営を守るため、「むすぶ・になう・はぐくむ営農強化運動」を基に、営農指導員、経済渉外員をはじめ全職員による「かたらい訪問運動」を実施いたします。

営農情報 Pickup!



北部営農センター 営農企画指導員
細谷 秀則
携帯番号 090-7320-4281

す。なお、日当りの悪い果実は、熟度が遅れる傾向があります。これらのことより、熟度の揃った果実を収穫するには、2～3回に分けて収穫を行う必要があります。

生産資材 News!



グリーン中央 きずな担当
田中 和行
携帯番号 080-1851-4010

カソロン キャンペーン2010 実施中

西洋なしの収穫

◎「ラ・フランス」「シルバーベル」等の収穫時期に入ります
食味のよい果実を生産するには、適期収穫は重要なポイントの1つです。収穫適期を判定するには、満開後日数、果実の硬度、ヨードカリ反応、糖度などを目安に、栽培状況や収穫前までの気象状況などを考慮して総合的に判断します。

◎収穫時期のポイント

樹勢の中庸な樹に比べると、樹勢の弱い樹では、内部褐変の発生が早く、樹勢の強い樹では、食味の向上する時期が遅い傾向があります。このことから、食味と内部褐変を考えると、樹勢の強い樹と弱い樹では収穫時期が短くなります。
同じ樹の中でも、日当たりの良い果実は熟度が進む傾向があり、収穫が遅れると内部褐変の発生が多くなります。

《西洋なしの収穫適期指標と予冷・追熟の目安》

品 種	収穫適期指標			予冷・追熟の目安			
	収穫時期 (22年満開期)	満開後日数 (収穫)	収穫判定目安	予冷 温度	予冷 期間	追熟 温度	追熟 期間
ラ・フランス	10月中下 (5/6)	165日前後 (10/18)	ヨード反応 1.5～2.5	5℃	10日	室温	15日 前後
シルバー ベル	10月下～ 11月上 (5/7)	175 ～180日 (10/29～ 11/2)	ヨード反応 :2前後 果皮色: 2.5前後	5℃	10日	15℃ か 室温	15～ 20日

組合員の皆様、日頃よりきずな号をご利用いただき誠にありがとうございます。

平成23年用
かたらい訪問運動
春肥料予約申し込み
取りまとめ実施中

消費者の安全指向に
対し、高品質・安全生
産を図るため、「JAや
まがた施肥計画書」
による取りまとめを
実施します。

①JAやまがたオリジナル肥料（16品目）

- 水稲栽培肥料 はえぬぎワンR
- 転作物栽培肥料 JAやまがた専用・そば専用
- 果樹専用有機肥料 フルーツ有機80・50・ぶどう専用・ほかしの大将
- 野菜専用有機肥料 JAやまがたやさい1号・2号・有機100・有機500
有機NK73・有機NP66・ほかしの源さん
ロング有機入り野菜100・ロング有機入り野菜140

②低コスト対策肥料の拡大（8品目）

- ☆高度444 水稻をはじめ、果樹、野菜の作物にも広く使える低価格肥料。
- ☆CDUタマゴ化成S588 CDUタマゴ化成S682の低成分肥料。
- ☆磷硝安加里S677 磷硝安加里S604の低PK肥料。
アラジン444・アラジン484・アラジン403
はえぬぎ専用低PK500(塩安系)・低PK500(尿素系)

山形の畜産業の消費拡大とPRを担って 「山形市食肉まつり」 今年も大盛況!

去る9月12日、山形市平久保にある山形ビッグウイングの国際交流広場（野外）において、毎年恒例となっている「山形市食肉まつり」が開催されました。当日は山形市の市川昭男市長や当JAの長澤豊代表理事組合長をはじめ、当日賞味された牛肉の生産者・平尾喜代春さん（山形市南沼原）も出席して、オープニングセレモニーを開催。終了後はバンド演奏などが催される中、700人以上が会場に設置されたテント内で、山形牛の焼肉に舌鼓を打ちました。今回は、その食肉まつりに長年関わってきた山形市農林部の設楽新部長さんを訪ね、24回の歴史を重ねた「山形市食肉まつり」についてお話を伺ってきました。

「山形牛を味わうイベントとしてすっかり定着している『山形市食肉まつり』ですが、今回は少し昔を振り返りながら今後の展望なども伺いしよう」と取材にお邪魔しました。設楽部長さんは「一番長くこのイベ

ントに関わってこられたそうですね。
設楽 常に担当してきたわけではありませんが、長くこのセクション（農林部）にいらることは事実です（笑）。「食肉まつり」は昭和62年に始まりましたが、私は第3回



10回までこの部署にいて、ここ7年もこの部署に在籍していますので、通算15年、何らかの形で食肉まつりには関わってきたことになりました。

現在の「食肉まつり」の目的は、「地場産食肉の消費拡大を図るため、市内の畜産農家が肥育した山形牛1頭を賞味していただきながら、多くの市民に本市の畜産と食肉の優秀性を情報発信する」となっています。これは開催当初からずっと変わっていませんか？

称でやる場所が多いのですが、当市の場合には牛肉に限定せずに「食肉まつり」としているわけですね。
開催当初の反応といえますか、人気ぶりはどうな感じでしたか？

設楽 始めた当初は、確か一人分1500円くらいの料金でやっていました。思いますが、当時も黒毛和牛は値段が高く、普段はそんなに食べられるものじゃなかったですから、すごい人気でした。また、いまはだいたい700人くらいの規模でやっていますが、当初は1200人規模でやっていました。七輪なども2回転させないと間に合わない状態。お昼頃になると人がどっと集中するものですから、待ちの行列ができていて、受付の人たちはいつも怒られていました（笑）。食べ終わった人がさっと席を立つてくれれば、次の人たちが入れるんですが、お酒が入るとなかなかさうもいかず…（笑）。それでテントの外にまで席をつくってみたりして、10回目あたりまではそんな感じで、スタッフはハトハトになりながらやっていましたね。

設楽 山形で育てられている黒毛和牛を地元の人に食べてもらい、消費拡大につなげよう」というのが当初から一番の目的でした。ただ牛肉だけでなく食鳥も豚肉も食べてもらいたい気持ちがあり、牛、鳥、豚の全体で山形畜産業の振興・活性化につなげたいということでスタートしたと記憶しています。ですから他の市町村では「牛肉まつり」とか「黒べこまつり」といった名

設楽 いえ、最初はいま「日本の芋煮会」をやっている馬見ヶ崎川の河川敷でした。日程も9月の第1日曜にやっていたのですが、「日本一の芋煮会」が始まってからは日程もあっちに持って行かれて（笑）。それで8月にやったこともありましたが、9月の第2日曜に落ち着いた経緯があります。もっと後になると今度は稲刈りが始まってきますからね。



生産者 平尾 喜代春さん
JAやまがた代表理事組合長 山形市畜産振興協議会会長 長澤 豊
山形市長 市川 昭男さん

会場はずっと山形ビッグウイングの野外広場でやってこられたのですか？

「日本一の芋煮会」が始まってからは日程もあっちに持って行かれて（笑）。それで8月にやったこともありましたが、9月の第2日曜に落ち着いた経緯があります。もっと後になると今度は稲刈りが始まってきますからね。



24回の歴史を重ねるといろいろなエピソードもあって話は尽きませんが、「食肉まつり」の効果もあっていまや山形牛は全国ブランドとして認知されるまでになりました。それで今後の展開について、伺いたいのですが。

設楽 地元の人に山形牛の良さを知ってもらい消費拡大につなげる、という点では一定の成果は上げられたと思いますので、今後は外に向けての広がりという部分でどんな仕掛けができるのか、課題になろうかと思っています。また生産の現場では、山形市内では一つの法人を含め19の肥育農家の方がおられますが、徐々に高齢化も始まっていますのでその対策。具体的には後継者問題になります。新規参入への支援も含めて行政としてどんなことができるのか。この辺は山形農協さんとも相談させていただきながら、いろいろ考えていきたいと思っています。せっかく全国ブランドにまでなった山形牛ですから、今後も発展するように



行政も力を注いでいきたいと思っています。
生産農家としてはいまよりさらに肥育技術を磨き、肉質のいい牛を生産してブランド力を上げること。そうすれば収入も増えるでしょうし、後継者問題の解決にもつながるような気がします。
設楽 行政は肥育農家の支援とか、消費拡大などに向けた支援・PRに努めていくことは言うまでもありませんが、それには山形農協さんの力が不可欠ですので、一緒にがんばっていかれたらと思っています。
本日に生産者もJAも行政も、また販売店さんなど関係者が皆で力を合わせ、山形牛を盛り上げていきたいですね。本日はお忙しい中、ありがとうございました。



山形市農林部の設楽新部長。山形市の農林行政に長年携わり、現在農林部長として山形市の農林行政の先頭に立つ。



当JAの職員と家族300人が参加して初めてのウォークラリーを開催しました！

当JAでは9月18日、「ランチで地消地消・ウォークラリーで弁当開き」と名付けたイベントを開催しました。このイベントは職員とその家族の親睦を図るとともに、地元食材を使った手作り弁当で地消地消を実践することなどを目的に今年初めて開催したものです。開会式では長澤代表理事組合長が「山形の名所を歩いて職員と家族の親睦を深め、歩いた後は山形の食材を使った弁当をおいしく食べて欲しい」と挨拶しました。開会式の後には、職員とその家族約300名がそれぞれ班に分かれ、スタートしました。途中で山形まなび館、紅の蔵、七日町御殿、文翔館などの市内の名所を見学しながら、約4kmのコースを元気に歩きました。



山形に住んでいてもなかなか市内の名所を歩いて見学する機会は少ないだけに、参加者はみな楽しそうに会話を弾ませながらウォーキングを楽しんでいました。そしてゴール地点の霞城公園では、到着した班ごとに弁当を開いての昼食。班によっては豪華な弁当を準備したり、一人一品を持ち寄ってみんなで分け合ったり、食べたりするところもあって、皆さん楽しい昼食の時間を過ごしていたようです。参加した職員は、「他の家庭の味を楽しむことができてよかった。煮物や漬物、炊き込みご飯などどれもおいしい」と満足そうに話していました。

千歳支店の組織代表者が視察研修会茨城県の農業法人などを視察してきました

JAやまがた千歳支店の組織代表者11名が9月9日と10日の2日間、茨城県で視察研修を行いました。視察先の一つである農業法人有有限会社アグリクリエイトでは、土壌分析に基づく作物別施肥設計を行って有機質肥料を完成させている様子を視察。この有機質肥料で良食味米の安定生産と、無農薬野菜栽培に実績を上げていることについて説明を受けました。またタキイ種苗株式会社茨城研究農場では、キュウリやトマトの品種や異常気象による高温対策などについても説明を受け、参加者は真剣に耳を傾けていました。



第18回山形県内産山形牛枝肉共進会遠藤紀江さんがチャンピオンに輝く

山形市中野にある山形県食肉公社で9月13日、「第18回山形県内産山形牛枝肉共進会」が開催されました。この共進会は、山形牛の知名度向上と農家の肥育技術向上などを目的に開かれていて、今回は県内から139頭が出品され厳しい審査が行われました。その結果、遠藤紀江さん（山形市）の黒毛和牛・去勢がチャンピオン牛に選ばれ、1kg単価4,101円で落札されました。当JAの担当者は、「当JA管内からチャンピオン牛が出るのはとても名誉なこと。景気低迷で消費環境は厳しいが、全国的に山形牛の評価は非常に高まっているので、生産者の皆様には今後も高品質の山形牛を生産してもらいたい」と話していました。



いちご新品種「サマーティアラ」を使った、洋菓子メニュー披露会を開催

山辺町商工会館において8月24日、山形県のオリジナルいちご品種「サマーティアラ」を使った洋菓子メニューの披露会が開催されました。この披露会は山辺町が主催したもので、やまのべ高原いちご生産組合、山辺町菓子組合のメンバー約30名が、サマーティアラを使ったオリジナルケーキ7種類を発表しました。サマーティアラは夏も収穫できる品種として開発され、山辺町で今年から本格生産が開始されました。果実は固めで酸味があり、ケーキなどの洋菓子に適しています。今後はこのサマーティアラを本格デビューさせ、市場でのブランド化を目指します。



日本一の芋煮会フェスティバルに向け、村木沢の畑で、130名が里芋の収穫作業

山形市村木沢の里芋畑で8月31日、「日本一の芋煮会フェスティバル」で使用する里芋の収穫作業が行われました。この日、作業に参加したのは商工会議所青年部員や当JAの職員、ボランティアの人など約130名。参加した皆さんは猛暑の中、機械で掘り起こした株から里芋を一つひとつ丁寧に外してはコンテナに運び入れ、90アールの畑で約3・3トンを収穫しました。この日収穫した里芋は9月5日に開催された「日本一の芋煮会フェスティバル」で使用され、約3万食分の芋煮となって訪れた人たちに配られました。



JAやまがた女性部講演会あき竹城さんの講演に拍手喝采！

山形駅西口にある山形テルサで9月14日、JAやまがた女性部講演会が開催されました。講演会には女性部員約350名が参加。この席で堀井信子女性部長は、「今年は夏の暑さが続き、農作物にも影響が出た。農家としてはなかなか先が見えない状況だが、女性がんばることで社会を明るくすることができる」と挨拶しました。次に米沢市出身で女優のあき竹城さんが「さらさら輝く人生のために」と題して約1時間半の講演を行いました。あきさんは親しみやすい山形弁で、ユーモアたっぷりに女優として成功するまでの苦労などを語り、会場から大きな拍手を浴びていました。



西部果樹組合と西部野菜組合設立20周年を祝い、記念式典を開催

JAやまがた西部支店で9月19日、西山形・村木沢・大曽根地区の西部果樹組合（西村博幸組合長、組合員150名）と、西部野菜組合（向田孝一組合長、組合員50名）の設立20周年記念式典が開催されました。式典には両組合の歴代組合長や市場関係者など約150名が出席。この席で挨拶に立った西村博幸組合長は、「組合設立から20年の間に、JAの合併もあり、農業を取り巻く状況は大きく変化した。今後も厳しい情勢が続くが、合併JAとしての優位性を活かしてがんばっていききたい」と述べました。式典後は西部集荷場に場所を移して祝賀会が開催され、芋煮や地元食材を使った料理を堪能しながら、これまでの組合の歩みや苦労について語り合いました。



夕暮れの畦に座って

文／安達 敏史



illustration : Kikuchi Toshiaki

猛暑が少し和らいだ九月初め、稲刈り準備の田の畦（あぜ）草刈りをした。七月の草刈では、朝仕事に加えて朝食後十一時頃まで続けたが、首筋に照りつける陽ざしにやられて熱中症らしい症状に襲われ、心もとない足取りで家に帰り、水風呂に頭まで浸かった。その反省もあり、今度の畦草刈りは朝食後は避け、早朝と夕方にした。

約一町歩の田の、ノリ面の広い畦を、間もなく八十年代になる父と二人、二台の草刈機を使って何とか一日で刈り終えることができた。夕方とはいえ、父も私も体中汗だらけ。お互いに首に巻いたタオルで汗を拭きながら、少し吹く風に運ばれて来る草の匂いをかいだ。

一息つく父は「ああいがあった。草刈ってどっかどした」と安堵のため息をついた。そして一足先に軽トラックで帰って行った。私はしばらく、田んぼの畦に座って涼んでいくことにした。風が心地よく、夕空がとても美しく広がっていたからだ。

少しづつ暮れていく田の畦に座って、目の前にある整備された田を眺めていたら、小さく何枚にも分かれていた頃の田形や、田んぼであったらいるような思い出が蘇ってきた。

随分昔の事だが、春先にはそこに堆肥を乗せて雪の上を牛にひかせて運んでいた。小学生の時には、月の夜に祖母に言われて稲の杭がけで遅くなった祖父と父母を迎えに行った事もあった。その時はあまりに月明りが明るいので終わるまで手伝った事を覚えている。ハーベスタを使った脱穀では、稲わら取りの親戚や近所の人も手伝って、弁当を広げながらとても賑やかだった。思えば、その笑顔の多くは遠くへ旅立ってしまっただけ。

目の前のこの田には、自分と自分につながる人達との思い出の地層がある。たくさんの人たちとこの場所

で一緒に汗を流した。そしてここから産まれた米を食べて生きてきた。そう思い至った時、何とも言えない切ない愛おしさがこみ上げてきた。若い頃はお荷物に思った田んぼを、こんなにも愛おしく思うようになるとは。

見渡せば荒れた田もある。耕作放棄地を見るにつけて胸が痛むのは、何よりそこにあった家族の思い出が捨てられ、ふるさとの姿が朽ちていくように思えるからだ。

今日日本で田畑の記憶、家族の記憶が薄れている。それは、田畑を通じて繋がってきた地域社会の衰退でもある。

今後は人口の減少に拍車がかかり、農業人口も著しく減少する。さらには、農業や農村に国のお金を使うと、内容も精査せずに一斉に「ばらまき」批判が巻き起こるお粗末な言論が農業と地域社会の衰退を加速させる。そして風景の荒廃は益々人の心を荒廃させる。

農業の果たしている役割は、食べ物を作る「産業」というものだけではない。きれいに草刈られた畦、黄金色の田園が夕日に輝く姿、家族で力を合わせて作業をする姿は深い感動を与える。国土の隅々まで手抜きのない仕事、汗水垂らすことをいとわない姿こそふるさとを思う心、国を守る心を作る。

工場は容易に海外移転できても、日本という国の国土を耕し、美しく手入れする農林水産業こそ国の礎であり、農業を基盤とする地域社会には「競争」による生き残りではなく、協同と相互扶助の精神こそ必要だということを諦めることなく言い続けなければならない。荒れ始めた野辺に座ってつくづく思う。

仕事訪問

南沼原支店
支店長（兼）生産生活課長
林 貞浩さん



3年目を迎えた小学校との稲作交流。 今後の課題は、農地の集約&団地化！



「いつものように、南沼原支店の概要からご紹介いただけますか。」

林 はい、当支店では生産生活課と金融課の2つの部署がありまして、課員はそれぞれ2名と5名の計7名になります。管轄地区は沼木、南館、吉原、富の中などのいわゆる南沼原地区の1帯。組合員さんの数は正組合員が308名、准組合員が347名の計655名となっております。

南沼原地区ではどのような作物が多く栽培されていますか？

林 多いのは園芸作物で、きゅうりとトマト栽培が盛んです。あとは稲作と、転作物の大豆、そば、果樹などです。

稲作ということでは、こちらの支店では管内の小学生に田植えや稲刈りを体験してもらっているのですが。

林 はい、南沼原小学校の5年生を対象



にして、田植えや稲刈りを体験してもらっています。今年で3年目になります。これは、地域とのふれあいや食育を目的に、青年部南沼原支部のメンバーや地区組織の役員の方々が中心になって行っているものです。5年生児童は170名くらいいますが、その全員が田んぼに入って田植えをしたり、鎌を持って稲刈りをします。そして10月には収穫祭を開き、餅つきをして皆で収穫を祝います。収穫したお米は希望者にお分けしているのですが、昨年は青年部のアイデアで、皆で撮った記念写真をラベルにして貼り付け、それが大好評で、収穫したお米がほとんど完売しました。

「すごくいい感じで地域との交流活動がなされているみたいですね。最後に今後の課題などはありますか？」

林 他の地区もそうだと思いますが、やはり農家の高齢化と、市街化による農地の減少が課題です。今後は農地の集約化、団地化によって効率の良い農業を目指す必要があるでしょうし、そういった課題について組合員の方とともに考え、取り組んでいきたいと考えています。

「JAやまがた福祉センター青田」

10月中旬オープン



(詳細・お問い合わせは 福祉センター青田 TEL.023-616-8002まで)

9月29日、福祉センター青田の竣工式が関係者や地元の方々52名をお招きして執り行われました。現在許可申請中で、10月中旬開所予定で進んでおります。

通所介護施設では、ご高齢者個々の健康状態にあわせ、入浴・運動・食事・交流・趣味等、目的を持ちながら現状の生活を楽しめ、生きがいをもち、在宅生活の維持ができるよう、ご本人ご家族を支援させていただきます。

また、これまで山辺近江で訪問介護事業を展開してまいりましたが、11月1日より青田に移転して営業いたしますので、ご利用くださいますようお願い致します。

理事会だより

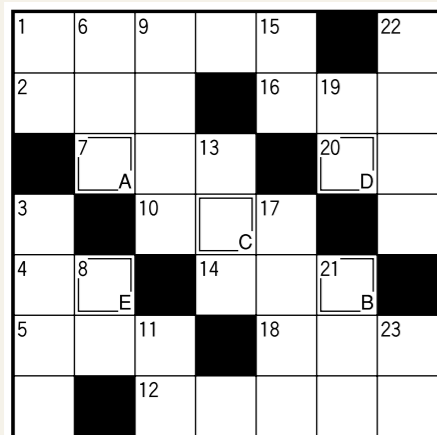
第8回 8月30日 開催

●報告事項

- ・企画管理部
- 1.組合員(出資金)加入調書について
- 2.平成21年度支店別部門損益及び配賦人員について
- 3.外部出資先、貸借対照表・損益計算書について
- 4.介護施設の名称並びに工事の進捗状況について
- 5.審議会の設置について
- 6.平成22年度地域ふれあい運動・農協まつり開催について
- ・金融部
- 1.平成22年度JAやまがたの翼実績報告
- ・営農経済部
- 1.青果物販売状況について
- 2.「JAやまがた米全量集荷運動」「肥料農薬かたらい訪問運動」推進大会開催について
- 3.おいしさ直売所紅の蔵店の状況について
- ・その他
- 1.平成22年7月末事業実績について

●協議事項

- 第1号議案 高額貸出金及び農協法第35条の2第2項「理事の利益相反取引」に係る貸付について
- 第2号議案 福祉事業職員就業規則の設定について
- 第3号議案 支店統合再編方針と年次計画について
- その他



→ヨコのカギ

- 1 マツタケなどを炊き込んで作ります
- 2 バケツをひっくり返したような激しい雨
- 4 日本酒やせんべいの原料
- 5 11月3日は—の日
- 7 物知りで思慮深い人に感じられます
- 10 信じられない出来事 ミラクル
- 12 子どもの成長を祝う行事
- 14 カイコの繭から取ったまもの糸
- 16 燃え上がる炎
- 18 中が空洞の練り物
- 20 歩き過ぎると「棒」になったりします

↓タテのカギ

- 1 俳句に入れる季節の言葉
- 3 洪水に備え動物を載せたノアの—
- 6 野菜や米を作る土地
- 8 そば うどん スパゲティ
- 9 素晴らしい手柄
- 11 おやつによく食べます
- 13 大昔の住居跡など 吉野ヶ里—
- 15 奈良公園に行くとき出てくるものです
- 17 ラスベリ、ブラックベリーなどの種類があります
- 19 ターミナル —カーテン— バッグ
- 21 堅い蓋が低石(とじ)の—のように使えぬことからこの名がつけました
- 22 11月23日は勤労—の日
- 伊勢— 東京— 若狭—

パズル?頭の体操

出題ニコロ

正解者には抽選でプレゼント!!
詳しくはP.15へ。

第15回 広域合併JA交流親善野球大会開催

8月27日庄内地区を会場に、第15回広域合併JA交流親善野球大会が開催され、7チームが参加し、トーナメント戦を行いました。JAやまがたチームは決勝で0対0でしたが、ジャンケンで敗れ、惜しくも2位で大会を終えました。

JA山形
おきたま
0-6
JA
やまがた

決勝
JA庄内
みどり
0-0
JA
やまがた
ジャンケン
5-3



年金相談

無料年金相談のご案内(どなたでも相談可能)

周近に迫ったセカンドライフをお任せください。

「社会保険労務士(高橋厚子先生)による年金相談」を毎週水曜日開催いたしております。

●場 所 JAやまがた本店(山形市役所西向かい)

●時 間 午前10時から午後3時

【事前に相談日時をご予約願います】

連絡先 JAやまがた年金相談窓口 本店・各支店へ

※予約状況によっては、希望日時のご相談ができない場合がありますのでご了承下さい。

がみのやま温泉 全国がかし祭

当JAでは上山管内の7つの支店・センターなどがかかしを制作しました。今年も時代を反映したユニークなかかしが展示されました。



上山支店



宮川支店



西郷支店



中川支店



南部営農センター



グリーン南部



◆**読者のひろば**

◆連日猛暑の中、熱中症にならないよう水分補給しながらの草取り作業は、とてもたいへんでした。終わった後のシャワー、カキ氷は格別でした。
(山形市天神町 Tさん)

◆地産地食コーナーですが、いつもの食材にどんな食べ方があるのか、興味があります。私でもつくれるのかな、とさっそく試したいです。
(山形市蔵王 Tさん)

◆野菜作り(家庭菜園)などのポイントを、わかりやすく解説したコーナーなどがあるととても助かります。
(山形市千手堂 Tさん)

EVENT

イベント情報 — 10/15~11/14

★山形市 ★上山市 ★山辺町 ★中山町

- 山村美紗サスペンス「京都花灯路恋の耀き」山形公演(山形県民会館)【開催期間】10/30(土)
- MOA美術館山形県児童作品展(山形美術館)【開催期間】10/30(土)~31(日)
- 第24回 なるほど住まいるフェア(山形ビッグウイング)【開催期間】10/30(土)~31(日)
- 塩野博紀ソロコンサート(山形テルサ)【開催期間】10/31(日)
- 中山町内一周駅伝競走大会【開催期間】10/31(日)
- 櫻花吹奏楽団演奏会(文翔館)【開催期間】10/31(日)
- 上山市総合産業まつり【開催期間】11月上旬
- 服地 大売出し(山形ビッグウイング)【開催期間】11/3(水)~4(木)
- 翔龍会全国書道展(山形美術館)【開催期間】11/4(木)~7(日)
- カーサービス山形「中古車大即決祭」(山形ビッグウイング)【開催期間】11/5(金)~7(日)
- 秋の大感謝祭(山形ビッグウイング)【開催期間】11/6(土)~7(日)
- 介護就職ディ 福祉のしごとフェア~就職面接会~(山形ビッグウイング)【開催期間】11/11(木)
- 山形ビッグ中古車フェア(山形ビッグウイング)【開催期間】11/12(金)~14(日)
- ぴょんちゃんランドセル受注販売会(山形ビッグウイング)【開催期間】11/13(土)~14(日)
- (仮称)認知症を考える市民セミナー(山形ビッグウイング)【開催期間】11/14(日)
- 山形建設労働組合 第33回 住宅デー(山形ビッグウイング)【開催期間】11/14(日)
- まるごと博(山形ビッグウイング)【開催期間】10/16(土)~17(日)
- 第19回カラオケ山形&山形ダイハツU-Car合同フェア(山形ビッグウイング)【開催期間】10/16(土)~17(日)
- スマイル・アップ・キャンペーン(山形ビッグウイング)【開催期間】10/17(日)
- ピアノ発表会(文翔館)【開催期間】10/17(日)
- 第8回山形県 少年少女ピアノコンクール 本選(山形テルサ)【開催期間】10/17(日)
- 上山菊まつり【開催期間】10/17(日)~11/5(金)
- 危険物取扱者保安講習(山形ビッグウイング)【開催期間】10/19(火)
- 松波美術展(文翔館)【開催期間】10/19(火)~
- (社)大気環境学会 北海道東北支部 第17回大会(山形テルサ)【開催期間】10/22(金)
- 北島寿子舞踊研究所 山形教室発表会(山形テルサ)【開催期間】10/23(土)
- 発足40周年記念 第21回 タウベンコール コーラス発表(山形テルサ)【開催期間】10/24(日)
- 癒しの里やままで「宝珠山ライトアップ・光のロード」【開催期間】10/24(日)~11/7(日)
- 時代を歩いた放浪画家の生涯 山下清展(山形美術館)【開催期間】10/28(木)~11/28(日)
- 権利擁護講演会~老後の暮らしは自分で決める~(山形ビッグウイング)【開催期間】10/29(金)
- 秋田市立 山王中学校吹奏楽部 交流演奏会(山形テルサ)【開催期間】10/30(土)
- ヘナート・モタ&ハトリシア・ロバート ジャパン・ツアー2010(文翔館)【開催期間】10/30(土)

地産地食 旬の食材でプロが作るオリジナル料理③

【吉田健】

19歳で料理の世界に入り、東京や県内の日本料理店、ホテル(メトロポリタン山形)の和食部門などで修業。2008年12月には独立して日本料理の「四季亭よし田」を開店する。同店は店名にもあるように「四季を大切にしたい」季節感いっぱいの料理を提供するのがモットー。特に夏場のアユ料理には力を入れていて、小国川産の天然アユを味わえる。山形市香澄町1-15-24 電話023-642-8277、営業時間17:00~23:00LO、日曜祝日休、予約・宴会可(最大35名まで)。



【ジャガイモ】

肉じゃが・コロケ・カレー・フライドポテトなど、たくさんの料理に使われるジャガイモは、ほとんどの家庭に常備される身近な野菜の一つです。男爵・メークインのほか、最近は個性的なジャガイモが栽培されるようになりました。



今回の地産地食は、私たちにとって大変なじみ深く、家庭料理に欠かすことのできない「ジャガイモ」がテーマです。調理をお願いしたのは、山形駅近くに2年前にオープンした「四季亭よし田」の吉田健料理長さん。なじみ深い食材ゆえにいろいろな調理法があるジャガイモを、モチ入りの饅頭仕立てにして仕上げていただきました。一般の人が作るのとは少々難しいかも知れませんが、一度ぜひ挑戦してみてください。

【ジャガイモのモチ入り饅頭】

●材料(7~8人分)

ジャガイモ…中4~5個、水菜…適量、シメジ…適量、キクラゲ…適量、エビ…2尾、モチ…適量、とろけるチーズ…7~8枚、そうめん…適量、食用菊…適量、お米…適量、その他(塩、片栗粉)

●作り方

- ①ジャガイモは蒸して皮をむき、つぶして裏漉したら塩、片栗粉を少量加えて混ぜ合わせる。
- ②ゆでたエビとキクラゲ、モチをとろけるチーズで包み、それを①のジャガイモで包んで饅頭にする。
- ③黄色く着色した生のお米を②にまぶす

ようにして全体を包み、25分ほど蒸し器で蒸す。
④ミリンと薄口しょう油で調味したダシ汁で菊、水菜、シメジをさっと煮る。味見をした後、水溶き片栗粉を回し入れて餡をつくり、盛りつけた③にかける。
※そうめんは盛りつける時の飾りに使う。

★今回のお料理は、「四季亭よし田」さんのおまかせコース(2,100円)の中で、10/15~10/30の期間限定で味わうことができます。

★10月のあなたの運勢★

モナ・カサンドラ

<p>3/21~4/19 牡羊座 【全体運】気分が浮き沈みが激しくなりそう。わずかなことでイライラせず、どっしり構えて。リラックスには芸術鑑賞が◎ 【健康運】のんびり過ごせば、体調面にも好影響大 【幸運を呼ぶ食べ物】ダイコン</p>	<p>4/20~5/20 牡牛座 【全体運】細部を気に掛けてしまいがち。完ぺきを目指さず、何事にも気楽に取り組んで。リフレッシュには家庭菜園が吉 【健康運】疲れをため込まないよう、ママに休んで 【幸運を呼ぶ食べ物】カボチャ</p>	<p>5/21~6/21 双子座 【全体運】レジャー一運が絶好調。気の合う仲間たちとにぎやかに過ごして。小説を書くなど、クリエイティブな趣味にツキ 【健康運】オーバークワークに注意。無理は禁物 【幸運を呼ぶ食べ物】柿</p>	<p>6/22~7/22 蟹座 【全体運】感情的になりやすいかも。愚痴がエスカレートしがちなので、ほどほどに。幸運を呼ぶには、お風呂や台所の掃除を 【健康運】おおむね安泰。目立つトラブルはなさそう 【幸運を呼ぶ食べ物】サバ</p>	<p>7/23~8/22 獅子座 【全体運】何か好奇心を刺激されるとき。興味を引くことがあったら、トライしてみてください。インターネット関連も吉 【健康運】あまりさえないので、規則正しい生活を 【幸運を呼ぶ食べ物】梨</p>	<p>8/23~9/22 乙女座 【全体運】周りを充実させる時期。習い事を始めれば、良い刺激に。スポーツにチャレンジするのも◎ 【健康運】体に良いことは、積極的に取り入れて 【幸運を呼ぶ食べ物】サツマイモ</p>
<p>9/23~10/23 天秤座 【全体運】何事も意欲的に打ち込んでみて。新しい才能に気づくかも。直感に従って動くのが、成功の秘訣 【健康運】暴飲暴食で体調を崩しがち。要注意 【幸運を呼ぶ食べ物】サンマ</p>	<p>10/24~11/22 蠍座 【全体運】あれこれ考え過ぎてしまう時期。開き直る気持ちも大切に。心理状態を安定させるには、バスタイムを満喫して 【健康運】暑くよったしげに気がつけて。慎重に 【幸運を呼ぶ食べ物】ピクルス</p>	<p>11/23~12/21 射手座 【全体運】知識欲を刺激されそう。どんどん新しいジャンルを開拓して。専門知識や特殊技能の習得も◎ 【健康運】肌荒れにご用心。食生活の改善が不可欠 【幸運を呼ぶ食べ物】豆腐田楽</p>	<p>12/22~1/19 山羊座 【全体運】自分の考えに固執し、孤立してしまう結果に。柔軟性を発揮して、状況の打開を。気分転換には公園の散歩がオススメ 【健康運】ストレッチで体をほぐせば疲労解消に 【幸運を呼ぶ食べ物】ギンナン</p>	<p>1/20~2/18 水瓶座 【全体運】行動力が高まっている。視野を広げて、新しいことに意識を向けてみて。発想力アップにはウォーキングを 【健康運】ストレス解消には適度な運動が効果的 【幸運を呼ぶ食べ物】卵焼き</p>	<p>2/19~3/20 魚座 【全体運】物事を悪い方にとらえてしまう気配。人の言葉を悪意に受け取りやすいため、プラス思考を。鏡を磨くと幸運に 【健康運】スポーツの秋を満喫すれば、運氣回復へ 【幸運を呼ぶ食べ物】きのご飯</p>

プレゼント
パズルの正解者の中から抽選で3名の方にギフト券(1,000円分)をプレゼント。当選者は発送をもってかえさせていただきます。

モデル募集
広報誌の表紙を飾りませんか?プロの撮影スタッフがご自宅まで伺います。くわしくはJAやまがた総務課 023-641-3121までお気軽に。

応募方法
左の記入例を参考に官製はがきでご応募下さい。締め切りは、10月17日(当日消印有効)です。どしどしご応募下さい。

宛先
〒990-8535
山形市旅籠町一丁目12-35
電話 023-641-3121
FAX 023-631-4714
Eメール soumu@jayamagata.or.jp

パズル?頭の体操 9月号のクイズの答えは「キャンディー」でした。

◆**あとがき** 秋も深まり、おいしいものがたくさん出回るようになりました。お米も果物も、地元で生産されたものがやっぱり一番です。